



2008年 6月17日

会社名 J.フロントリテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者
 奥田 務
 お問合せ先 経営計画本部 広報・IR部
 TEL 03-6895-0178

2008年5月度 J.フロントリテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率 (%)

	5月度	3～5月度 累計
百貨店業	▲0.9	▲1.9
スーパーマーケット業	▲0.1	▲0.1
卸売業	▲8.8	▲11.3
その他事業	▲9.6	▲0.8
連結合計	▲1.6	▲2.6

(注)当社は2007年9月3日設立のため、対前年増減率は、前年の大丸グループ、松坂屋グループの売上高を集計した数値と比較して算出しております。

2. 売上高概況

1) 百貨店業

- ・5月の百貨店事業の売上高は、土曜日が対前年1日増で、ゴールデンウィーク商戦は堅調であったものの、特に中旬以降の天候不順も影響し、衣料品を中心に苦戦するとともに、宝飾品など高額品の不調も加わり、大丸直営店は対前年▲0.1%の微減、一方、松坂屋直営店は同▲1.3%減となり、この結果、大丸・松坂屋両社百貨店事業全体では同▲0.9%減となった。

2) スーパーマーケット業

- ・大丸ピーコックは、新店「西梅田店」(前年11月開店)「新神戸駅前店」(2月)「新千里西町店」(3月)「堂島クロスウォーク店」(5月)および小型新店舗「エクセ青山」「エクセ蒲田」(いずれも4月)開店による嵩上げはあったものの、中野店の一時閉鎖(前年8月末)の影響や郊外店の不調も加わり、対前年▲0.5%減、地区別では関東地区が同▲2.2%減、関西地区は新店効果で同1.7%増であった。一方、松坂屋ストアは依然好調な磯子店が牽引し、松坂屋スーパーマーケット事業合計で同1.3%増となり、大丸・松坂屋両社スーパーマーケット事業合計では同▲0.1%の微減となった。

3) その他

- ・卸売業の大丸興業は、特需などによる前年好調の反動が大きく、電子部品やアパレル向け商材などを中心に不調であった。

お問い合わせ先	J.フロントリテイリング株式会社	広報・IR部
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2008年5月度 大丸 百貨店業 営業報告

1. 店舗別売上高対前年増減率 (%)

	5月度		3~5月度 累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	▲9.8(▲10.6)	▲1.1	▲7.2	▲2.1
梅田店	▲0.3(▲1.0)	3.8	▲4.2	▲0.2
東京店	8.6(7.8)	20.7	10.7	28.1
ららぽーと横浜店	▲7.3(▲7.9)	—	▲12.8	—
浦和パルコ店	—	—	—	—
京都店	▲1.9(▲2.6)	▲2.9	▲3.0	▲3.4
山科店	1.8(1.1)	—	▲0.1	—
神戸店	▲0.3(▲1.0)	1.8	▲3.6	▲1.3
新長田店	2.7(2.0)	—	▲4.0	—
須磨店	▲2.4(▲3.1)	—	▲1.2	—
芦屋店	▲1.7(▲2.4)	—	▲1.4	—
札幌店	2.0(1.2)	2.7	2.2	1.8
直営12店舗計	▲0.1(▲0.9)	5.6	▲0.9	5.5
除く浦和パルコ店	▲1.1(▲1.8)	—	▲1.9	—
博多大丸	▲1.0(▲1.1)	1.2	▲2.1	1.2
下関大丸	▲6.0(▲6.4)	▲8.8	▲4.1	▲4.3
高知大丸	▲7.4(▲7.4)	▲6.4	▲5.4	▲4.3
今治大丸	▲2.0(▲2.0)	▲12.1	▲1.9	▲8.4
百貨店業合計	▲0.7(▲1.3)	—	▲1.4	—
除く浦和パルコ店	▲1.4(▲2.1)	—	▲2.1	—

- (注) 1. 5月度売上高は実質ベース(本年、前年とも5月単月の不動産賃貸収入を含めた売上高で比較)で表記。()内は、前年5月度の開示ベース(前年は5月度から売上基準変更を行ったため、5月単月商品売上高に不動産賃貸収入3~5月度分を一括算入)との比較。
2. 浦和パルコ店は2007年10月10日にオープンした。

2. 直営店 商品別売上高対前年増減率 (%)

	5月度	3~5月度 累計
紳士服・洋品	▲6.5	▲7.3
婦人服・洋品	▲5.0	▲4.9
子供服・洋品	▲5.6	▲4.8
その他の衣料品	17.1	7.5
衣料品計	▲4.5	▲4.9
身回品	▲0.7	▲2.9
家具	▲14.7	▲14.6
家電	▲8.6	▲22.7
その他の家庭用品	0.2	▲1.6
家庭用品計	▲4.3	▲6.3
生鮮	13.4	10.1
菓子	8.6	6.4
惣菜	4.4	2.2
その他食料品	7.9	5.1
食料品計	8.2	5.7
食堂・喫茶	11.9	20.0
化粧品	6.8	7.3
美術・宝飾・貴金属	▲2.6	▲2.1
その他雑貨	▲2.3	▲4.9
雑貨計	1.7	1.6
サービス	9.2	5.4
その他	▲5.2(▲48.9)	▲5.4
合計	▲0.1(▲0.9)	▲0.9

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ブラウス、ストールやUV関連商品のパラソル、手袋などは好調であったものの、主力のジャケットやスカート、パンツが苦戦した。紳士服・洋品は、スポーツファッションは依然好調を持続したものの、その他が全般に不調であった。身回品は、アクセサリは好調に推移したものの、ハンドバッグが不振であった。食料品は、浦和店の嵩上げ効果のほか、昨年4月開店の横浜店を除くすべての既存店が前年を上回った。雑貨は、化粧品は好調を持続したものの、高級時計や宝飾品が苦戦した。

2008年5月度 松坂屋 百貨店業 営業報告

1. 店舗別売上高対前年増減率 (%)

	5月度		3~5月度 累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
名古屋店	▲0.5	▲2.8	▲2.5	▲3.3
岡崎店	▲13.7	▲6.4	▲10.7	▲4.3
名古屋駅店	▲5.6	5.4	▲1.2	9.5
豊田店	▲7.0	3.3	▲4.2	3.7
高槻店	▲11.2	4.6	▲3.8	3.8
上野店	5.2	▲2.4	▲4.8	▲7.1
銀座店	▲3.0	1.1	▲2.1	▲1.1
静岡店	▲6.1	1.0	▲4.5	0.2
直営8店舗計	▲1.3	0.5	▲3.4	▲0.2
横浜松坂屋	▲7.4	▲12.4	▲6.5	▲7.3
百貨店業合計	▲1.5	▲0.1	▲3.5	▲0.5

2. 直営店 商品別売上高対前年増減率 (%)

	5月度	3~5月度 累計
紳士服・洋品	▲5.3	▲5.5
婦人服・洋品	▲5.6	▲6.5
子供服・洋品	▲4.3	▲1.9
その他の衣料品	7.4	▲0.8
衣料品計	▲4.2	▲5.4
身回品	4.0	1.9
家具	▲14.7	▲9.5
家電	▲14.8	▲31.1
その他の家庭用品	24.8	▲4.4
家庭用品計	9.1	▲7.9
生鮮	▲11.7	▲0.1
菓子	1.1	2.2
惣菜	▲0.4	▲0.7
その他食料品	▲10.4	▲26.7
食料品計	▲4.2	▲5.8
食堂・喫茶	26.2	27.0
化粧品	▲7.7	0.0
美術・宝飾・貴金属	▲10.4	▲11.3
その他雑貨	5.6	8.7
雑貨計	▲3.1	▲1.1
サービス	0.1	▲4.2
その他	12.0	34.5
合計	▲1.3	▲3.4

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、特にミセス衣料が苦戦し前年を下回った。身回品は、特選ジュエリーなどが堅調に推移し、前年を上回った。家庭用品は、法人外商大口受注により対前年大幅増となった。食料品は、会場催事数減と前年の外商大口売上増による反動等により対前年減となった。食堂・喫茶は、名古屋店本館レストランが好調な売上を持続し、12ヶ月連続で前年を上回った。美術・宝飾・貴金属は、高額品の動きが鈍く、前年を下回った。